

万引きはダメッ!



利用対象

- 学校教材 小学校 中・高学年 道徳
 - ◎自分に関すること
 - ◎集団や社会とのかかわりに関するこ
- 社会教育
 - ◎家庭教育 非行防止



東映株式会社 教育映像部

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-1 ☎03-3535-3631 FAX.03-3535-3632

| | |
|----------------|---------|
| 上映時間 | 21分 |
| ビデオ版 | 66,000円 |
| 価格は税抜 [C#2045] | |
| 1999年作品 | |

制作意図

今、小学生の「万引き」が激増しています。スリルを伴う一種の遊びと考えたり、仲間はそれにされるのがいやだと思って友人に付き合っているなど、その動機は様々ですが、いずれにも共通しているのは「罪の意識の低さ」です。

この作品では、「万引き」が「犯罪」であることを子どもたちに認識させ、社会のルールを守る大切さを訴えると同時に、周りの大人が非行の小さな芽に気づき、きちんと対応していかねばならないことも示します。

あらすじ

智也(小5)の一家は、単身赴任中のお父さんと、お母さんと3歳年下の妹・未来(小2)の4人家族。最近、お母さんは仕事が忙しく、帰りも遅い日が続いているが、智也が未来の面倒をしっかり見てくれるので安心していた。未来もやさしくて頼り甲斐のあるお兄ちゃんが大好きだ。

そんなある日、智也はクラスメートの山本君に声をかけられる。「新しいゲーム、簡単に手に入る方法があるんだ。教えてやるよ。」その方法とは、お母さんが智也と未来のために置いている財布からお金を盗むというものだった。

新しいゲームを知らないと仲間はそれにされるかもしれないし、親を怖がっていると思われるのもしゃくだ。そう思った智也は言われるがままにお金を盗んで、前から欲しかったゲームソフトを買ってしまう。

だが、あんなに欲しかったものを手に入れたのに、その晩、智也はモヤモヤしたイヤな気持ちをずっと抱えていた。

そして翌朝、朝食の時。「そうだ、お財布にお金、足しておくわね」というお母さんの言葉に、智也の心臓は爆発しそうになった。(お金盗んだの、ばれてしまうかもしれない！)

しかし、お母さんは中身を確認することなく、お金を足すと慌ただしく仕事に出かけていった。

学校に行くと、さっそく山本君が声をかけてき

た。「金がないこと、気づかれなかつたら？ どうせ親は忙しくって、子どものことなんて考えてないんだよ。」

放課後、智也と山本君は昨日のおもちゃ屋に行った。しばらくすると、ゲームソフトを選んでいる智也の側に山本君が近寄ってきて、手にしたおもちゃをそっと智也のかばんに忍び込ませた。驚く智也。しかし、山本君は平気な顔で言い放つ。「見つからなければ親にもしかられないし、欲しい物も簡単に手に入るんだ。」

最初は躊躇していた智也だったが、結局、誘われるがままに万引きを重ねてしまう。

翌日、お母さんの職場に電話が入った。智也が万引きで捕まったという連絡だった。

その夜、智也はこれまでに万引きしたものをお母さんの前に並べた。「こんなにたくさん万引きしたの！ お財布からはいくら盗んだの。」怒るお母さんに、智也は素直になれない。「いくら盗ったのかも判らないなんて、子どものこと、どうでもいいんだろ！」そう叫んで自分の部屋に駆け込む智也。

深夜、なかなか眠れない智也に、お母さんの話し声が聞こえてくる。単身赴任中のお父さんに電話をしているらしい。その悲しく淋しそうな声に、智也の心は張り裂けそうだった。

次の日、お母さんは、智也と一緒に万引きした品物を持ってお店に謝りに行くという。渋々お母さんのあとについて行く智也だったが、その真剣な姿を見ているうち、お母さんが自分をどんなに大切に思っているかを強く感じ、自分のしたことがひどく悔やまれてきた。

家に戻ると、赴任先からお父さんが帰ってきていた。「万引きは犯罪だ。刑務所に入ったっておかしくないんだ。」

厳しいお父さんの言葉に、改めて自分のしたことの重大性を感じた智也は、家族の前ではっきりと誓った。「もう二度と万引きはしない。本当にごめんなさい。」

制作……東映株式会社 教育映像部

企画……鎌田 幸人
湊 美也子

脚本……中瀬 理香
監督……原田 昌樹

●お買い上げは……

**(株)オプチカル 販売課 教育映像係
香川県高松市屋島西町2484-8
TEL 087-841-1100
FAX 087-841-1101**

関東営業所 東京都中央区京橋2-17-1 ☎104-0031 ☎03-3535-3631
関西営業所 大阪市北区曾根崎新地1-13-22 ☎530-0002 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 ☎730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 ☎760-0032 ☎087-851-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 ☎460-0003 ☎052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区中洲4-3-18 ☎810-0801 ☎092-262-3101
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 ☎060-0061 ☎011-231-1439